

## 分科会（厚生文教委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標 2

### 「子どもたちがのびのびと育つまち」

森 委員(座長)、小川 委員、  
近藤 委員、村山 委員、山崎 委員  
香取 委員

施策分野4  
施策2

社会の持続的な発展をけん引する力とグローバルに活躍する人材を育成

学校・地域・家庭の連携が少し不足しているのではないかと。「ふるさと学習みずほ学」は期待できる事業だが、推進するなら全庁的な取り組みが必要だ。

分科会での  
主な意見

特に秀でた人材は町の中でもいるので、こういった人々を発掘し、まちづくり、人づくりに協力していただく体制を構築すべきだ。



町で行われた体験学習

町側への質疑の中でも連携が不足していると認める内容もあった。

主要施策の中で数値目標を設定できるものはしっかり設定したほうが、後々検証することもできるし、過程も見えてくる。このことも提言すべきだ。

庁内の横のつながり、家庭の協力や理解が必要。啓発が重要になってくる。

※分科会での討議の結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。  
なお、所管の厚生文教委員会では、これまでの調査結果を精査して、具体的な提言や提案につなげていく。

施策分野5  
施策1

全ての児童・生徒に確かな学力を育む

学習の効果が上がっている団体を調べると、家庭の教育力向上に力を入れている。家庭の意識の差が大きいのでは。

分科会での  
主な意見

長年、学力向上施策を実施しているが、成果が見えてこない。



委員会での現地視察(二中)

「学びのテーマパーク」では、支援員の人材の確保や進め方について、検討すべき段階にきている。

家庭の教育力を高めるための施策が必要ではないか。保護者の意識を変えていかなくてはならない。

※分科会での討議の結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。  
なお、所管の厚生文教委員会では、子育てのときから親を教育する視点、子育てについての保護者への教育が学力向上につながっていくという調査結果を基に、具体的な提言や提案につなげていく。

## 成果は上げられたのか 議会の判断は！



討議の様子

決算特別委員会3日目は、討議事項を抽出し全委員で討議を行いました。今回は、これまでの事業内容の評価から、「長期総合計画の目標実現に有効な施策展開ができたといえるか」という視点に立って総務産業建設委員会、厚生文教委員会のそれぞれ所管する内容について分科会方式で討議を行いました。分科会での討議終了後、両委員長より討議結果について報告があり、全体でのコンセンサスを図りました。

## 分科会（総務産業建設委員会所管分野）

長期総合計画の基本目標 6

### 「便利で快適に暮らせるまち」

石川 委員(座長)、下澤 委員、  
大坪 委員、下野 委員、村上 委員、  
原 委員

施策分野4  
施策2

町道等の整備と適切な維持管理

狭あい道路（車道や歩道が狭い道路）の積極的な解消、生活道路の打ち替え舗装の計画的な実施をしていただきたい。

分科会での  
主な意見

生活道路についても、狭いところがある。

30年から40年経っている生活道路がだいぶ傷んでいるので、舗装の打ち替えを順次、計画性を持って取り組むべき。

町は道路の整備については委員会からの要望書を受け、5年度から14年度まで整備計画を立てることになっている。その計画内容が基本目標に合致しているか注視していく必要がある。



改修された狭あい道路

※分科会での討議の結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。